



令和8年4月吉日

各都道府県空手道連盟 会長・理事長 各位

公益財団法人 全日本空手道連盟
会長 笹川 善弘



令和8年度 新年度ご挨拶ならびに重点施策のご報告

1. 新年度のご挨拶

謹啓 春暖の候、貴連盟におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より全日本空手道連盟の事業推進に格別のご理解とご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

令和8年度のスタートにあたり、ご挨拶を申し上げますとともに、今後の連盟運営にかかる重点施策についてご報告させていただきます。

2. 都道府県連盟 ご挨拶回りについてのご報告

昨年度より取り組んでまいりました全国ご挨拶回りにつきまして、まもなく47都道府県連盟様すべての皆様へのご訪問が完了いたします。各地においてご多忙の中、温かくお迎えいただき、また、率直なご意見・ご要望をお聞かせいただきましたことに、会長として深く感謝申し上げます。現地でお伺いした生の声は、まさに本連盟にとってかけがえのない財産であり、今後の施策の礎となるものでございます。

特に多くの連盟様からいただいたお声は、以下の3点になります。

- ① 審判の質・制度改善へのご意見について
- ② 会員（競技人口）の減少対策へのご意見について
- ③ 将来的な財政基盤安定のための対策へのご意見について

これらのご意見を真摯に受け止め、今後の「中長期ロードマップ ver.3（2026年度版）」に具体的な施策を盛り込んでいきます。

3. 取組中のプロジェクト

1. オフィシャルグッズパートナー契約を締結しました。
本連盟は4月1日より、新たに2社とオフィシャルグッズパートナー契約を締結し、JKF ロゴ入り公式グッズなどの展開を開始することといたしました。今後は大会等を通じて一貫したブランディングを推進し、空手に関わる全ての人の満足度向上につながる空手界全体の価値向上に努めてまいります。
2. 日本代表の道着マークが変わりました。
本連盟はJOC加盟団体としてオリンピック憲章をはじめとする理念に賛同し、スポーツ界の一翼を担う決意を新たにしております。その象徴として、今後は日本代表の道着にJOC チームジャパンマークを採用し、国際舞台での一体感と存在感の強化を図ってまいります。これまで約50年間、空手・日本代表の象徴だった日の丸マークは形を変え、日本を代表して活動していただくOB・OGの方々に継承して頂く予定です。



3. KARATE WEEK 期間中に未就学児が楽しめる空手イベントを開催します。
全少に参加する子どもたちの兄弟も楽しく参加でき、全国大会の盛り上がりを感じることができる空手イベントの開催を予定しております。本イベントを通じて、子どもたちが空手を始めたいと思うきっかけづくりとなることを目指してまいります。

4. 今後のご協力をお願い

今後の中長期ロードマップは、全空連が目指す「最高のNF」を実現するための基本方針を基盤とし、皆様方から頂戴したご意見を踏まえて策定していく予定です。全日本空手道連盟は、47都道府県の各連盟様と一体となっこそ、はじめてその使命を果たすことができます。

また、本年度には会員システムの刷新を予定しており、これにより大会申込をはじめとする各種手続きの利便性向上を図ってまいります。皆様にとってより使いやすい仕組みとなるよう整備を進めてまいりますので、円滑な導入に向けたご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



さらに今後は、定期的に情報共有および意見交換の機会を設け、各県連様とのコミュニケーションを一層強化し、連携を深め、空手界の発展に取り組んでまいりたいと存じます。全国の空手道ファミリーが一つとなり、空手道の更なる普及・発展に向けて共に歩んでまいりましょう。

皆様方には引き続き温かいご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白